

鶴見大学

入試問題(縮刷版)

短期大学部

2022(令和4)年度

短期大学部

総合型選抜

課題作文

- 保育科 (1期・2期) 1
- 保育科 (3期・4期) 2
- 歯科衛生科 (1期・2期) 3
- 歯科衛生科 (3期) 4

学校推薦型選抜 (一般公募推薦)

小論文

- 歯科衛生科 (1期・2期) 5

社会人特別選抜試験

小論文

- 歯科衛生科 (1期・3期) 6

一般選抜 (個別選抜型)
新入生特待奨学生選抜試験

国語

- 保育科・歯科衛生科 共通 7
- 解答例 9

2022（令和4）年度入学試験問題【課題作文】

課 題

総合型選抜1期
鶴見大学短期大学部 保育科

試験時間：60分間

字数：800字以内

1
最近の乳幼児に関する社会問題で特に関心のある事柄をあげ、それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

2022（令和4）年度入学試験問題【課題作文】

課 題

総合型選抜2期入試
鶴見大学短期大学部 保育科

試験時間：60分間

字数：800字以内

1
子どもの遊びに関することで、特に関心のある事例をあげ、それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

2022（令和4）年度入学試験問題【課題作文】

課 題

総合型選抜3期
鶴見大学短期大学部 保育科

試験時間：60分間

字数：800字以内

1
乳幼児の心身の健康に関する事で、特に関心のある事柄をあげ、それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

2022（令和4）年度入学試験問題【課題作文】

課 題

総合型選抜4期
鶴見大学短期大学部 保育科

試験時間：60分間

字数：800字以内

1
障がいのある子どもの保育に関する事で、特に関心のある事柄をあげ、それに関する自分の考えを論理的に述べなさい。

2022（令和4）年度入学試験問題【課題作文】

課 題

総合型選抜1期
鶴見大学短期大学部 歯科衛生科

試験時間：60分間

字数：600字以内

口腔と健康寿命の関係について

600字以内で書きなさい。

1

2022（令和4）年度入学試験問題【課題作文】

課 題

総合型選抜2期
鶴見大学短期大学部 歯科衛生科

試験時間：60分間

字数：600字以内

新型コロナウイルス感染拡大防止について

600字以内で書きなさい。

1

2022（令和4）年度入学試験問題【課題作文】

課 題

総合型選抜3期
鶴見大学短期大学部 歯科衛生科

試験時間：60分間

字数：600字以内

大規模震災時の歯科衛生士の役割について

600字以内で書きなさい。

2022（令和4）年度入学試験問題

小論文論題

学校推薦型選抜（一般公募推薦）1期
鶴見大学短期大学部 歯科衛生科

試験時間：60分間

字数：600字以内

「予防医療の重要性」について

600字以内で書きなさい。

1

2022（令和4）年度入学試験問題

小論文論題

学校推薦型選抜（一般公募推薦）2期
鶴見大学短期大学部 歯科衛生科

試験時間：60分間

字数：600字以内

「信頼される歯科衛生士」について

600字以内で書きなさい。

1

2022（令和4）年度入学試験問題

小論文論題

社会人特別選抜試験【1期】
鶴見大学短期大学部 歯科衛生科

試験時間：60分間

字数：600字以内

「歯科医院を受診する際の心理的障壁」について

600字以内で書きなさい。

1

2022（令和4）年度入学試験問題

小論文論題

社会人特別選抜試験【3期】
鶴見大学短期大学部 歯科衛生科

試験時間：60分間

字数：600字以内

「多職種連携の必要性」について

600字以内で書きなさい。

1

2022(令和4)年度入学試験問題

国語

〔一般選抜(個別選抜型)〕〔新入生特待奨学生選抜試験〕

(2学科共通)

注意事項

- 1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この冊子の問題部分は、全部で6ページあります。
3. 解答用紙の所定の欄に、志望学科名・受験番号・氏名を忘れずに記入すること。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所へ縦書きで記入すること。
5. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて、試験監督者に知らせること。
6. 試験時間は60分間です。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
8. 試験終了後、解答用紙は問題冊子の上に伏せて置くこと。
9. この問題冊子は持ち帰らないこと。

□ 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

小説を読む上で一番大切なのは正直ということだ。しかしこの簡単な原則がなかなか守りにくいのは、ちょうど現実の対人関係で僕等が嫌々つくのはよくない(またそれが結局損だ)と知りながら、時にはあつちいられぬ羽目によくおちこちの似ています。この類似は決してグロゼンのもではありません。何故かと言うと、小説を読むことは広い意味での人間対人間の関係を描写するからである。

「文は人なり」とは釋牛以来我国でも古い古された言葉ですが、おそらくここに小説を読むことの、ここに近代文学鑑賞の鍵があると思われます。

文章はことによると人間が書いたのではない場合があるかも知れません。少くも人間以上(人間以上)の者のために筆をとり、自分を表わそうなどとしなかつたものがあるかも知れません。またイリアドの開巻第一の詩句が詩神への祈りに捧げられているのは誰しも知る通りです。

□ A とういふ書物はみないわば信仰の対象であつて、今日云う意味の鑑賞の対象としては書かれしなかつた、また一般にその見做されしませんでした。神の言葉の記録とされた文章が人間の言葉の記録と変じて以来、今日僕等のいふ意味の文学が、宗教のほかにその独立性をカタク表現する最も有力な手段とされて来たので、ビュッフォンが云いだし「文は人なり」といふ言葉は、この事実を端的に云い表していると同時に、文字による人間精神表現の完結性に対する信仰の言

白であるのです。

すなわち文学者は、たとえ職業的な作家でなくとも、おそそ文学的表現を志して筆を執る者は、すべて彼の見たもの、または彼の考えていることは必ず文字によつて完全に云い表わさなければならない(これを「I」を復原することに努めるので、そのような作業が果して完全に行われるかどうかはともかくとして、まずそれが可能であると前提しなければ、文学の制作という行為も鑑賞という行為もなりたたいのです)。

このように、根本のところで考えて見ると、文学書を読むという行為とは、僕等の日常生活の会話とよく似ていると解ります。僕等が人と話をする場合、単に相手の言葉の表面の意味を聞いているのではなく、B それを裏打ちしあつた互の気持をさかにか感じ合うように、文学の場合も、文字の裏に生きている作者の心が、読者の生きた心に触れ合ふなければ、そこに何の興味も湧く筈はないので、文字とはこのような文字だけを媒介として時と所を隔てた人間同士の交渉を可能にする芸術だと云えましょう。

僕等が或る書物を読み、その作家の心を本当に彼が眼前にいるように、或いは眼前の存在の人物より正確に、実感をもつて、想像し得たとき、作者の制作の目的も、また僕等の鑑賞の目的も、はじめて完全に果し得たことになるわけだ。

この場合、僕等の日常の会話と文学の鑑賞とが違つて(又は、前の場合には、僕等が相手の生きた肉体を目のまに感じているだけに、言葉も生きた声として聞き、それに身振りを表すも加わつて、更にその人の過去についての特別な知識を持つていふことなど加つて、自然にその精神の生面を判つて把握することが出来るのですが、これに反して、文学では、同じ言葉を「サイ」にして、ただ文字という一定の記号に媒介されるだけで、C ほとんどすべての場合、作者と読

3

者の間に個人的な交渉などがないわけですから、そこに必然に何等か特別な技巧を凝らす必要がでてくるわけだ、文字がひとつの難かしI IIとされる理由もここにあるわけです。

僕等の日常でもちよつと混み入った用事は、手紙ではむろん駄目だし、電話でも片づかす、どうしても会つて話さなければならないという経験は誰しもしばしば繰り返すことだと思ひますが、文学的表現と普通の会話との間にもこれと同じ差異があるのです。

□ D 小説とは作者の側から云えば、手紙でもつて、会つて話をすれば以上の効果あがる技術なので、それは複雑な工夫が要するのは云うまでもないですが、しかしどんな技巧を弄しようとも、その根本は右に述べたように単純な、そして人間の欲望であることを僕等は忘れてはならないのです。

「小説は宇宙に出ず手紙だ」と牧野信一が云つたからです。そして読者の側からいへば小説を読むことは、この宛名のない手紙を読みほつた筈なのです。

注1 釋牛・高山樗牛。明治期の評論家。
注2 イリアド・古代ギリシアの長編叙事詩。
注3 ビュッフォン・フランスの博物学者。
注4 牧野信一・小説家。

- 問一 傍線部1~4の漢字の読みをひらがなで記せ。
問二 傍線部A~Dのカタカナ部分と同一の漢字を使うのを、次の中から選び番号で記せ。
1 ミシシユウカクの時節だ
2 この会社はタイグウがよい
3 大量にトクテンした
4 映画俳優のヌガオを知る
5 グラハツ的なでことだ
6 知的サイヤンが重要だ

4

問三 空欄A~Dに入る適当な語句を、次の中から選び番号で記せ。
1 しかも
2 ししい
3 たとえば
4 つまり
5 むしろ
6 この場合
波線部「裏打ちする」の言葉の意味として適当なものを、次の中から選び番号で記せ。

問四 別の条件を出してそれまでの内容を否定すること。
別の証拠を出して確かなものにする。
別の証拠を相手突きつけて反論すること。
別の仮説を提示して新たな見解を主張すること。
別の提案を出して議論を複雑にすること。

問五 空欄I・IIに入る適当な語句(四字以内)を、それぞれ本文中から抜き出して記せ。

問六 傍線部A「人間が人間以上の者のために筆をとり、自分を表わそうなどとしなかつたものがあるかも知れません」は、具体的にどのような内容を表現しているか。四十字以内(句読点を含む)で説明せよ。

問七 傍線部B「宛名のない手紙の内容を具体的に説明した箇所を、本文中より三十五字以内(句読点を含む)で抜き出して記せ。次の1~5について、本文の内容に合致するものにはAを、合致しないものにはBを記せ。

1 文学的表現の場合も普通の会話と同じように、常に読者は作者の声や表情を耳にし目にする必要がある。
2 小説の中で嘘をつくということは、絶対に避けなければならない。
3 信仰の対象である書物も、今日でいう文学鑑賞の対象として一般に見なされてきた。

4 作家の心を本当にそこに彼がいるように実感をもつて想像できたとき、文学鑑賞の目的は果たされたと言え。

□ 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

科学はいつも局部(かぶ)に問題にしない、というよりはせざるをえないのである。現実の事象は、あまりにも複雑だからかみ合つた関係であるために、そのすべての関係を考えに入れようとする、こんぐらかるばかりでまよりがつたかくなる。そこでこう考える。部分が全体を構成しているのだから、部分部分にバラバラして、単純な形にして考察しよう。このとき部分というのは、必ずしも空間的な部分だけを意味しているのではない。たとえば、磁石に引かれて動く鉄片の運動を考えると、そこには重力もかかっているはずだが、磁力の作用だけを考える。物理学者が物質の物理的な性質だけを問題にし、化学は化学の性質だけを問題にする。単純な部分Aとして考えると、純粋な状態で考えようというところになる。たとえば、力学は物体の運動を考えるときに、その大きさを無視して、質点という点の運動を考える。空気抵抗を考えると、真空中の運動を考える。学校で物理学を学んだ人なら誰でも覚えているように、その問題にはさらに但し書きがつく。「マツコ係数はゼロと考える。気圧は一定とする。温度は一定に保たれている」と考える……。

化学でも、常に化学反応は純粋な物質の間で起こるものとされる。水は常にH2Oで、いかなる不純物も含まないものと考えられる。むしろ、現実には完全な真空は存在しないし、温度一定の状態もなければ、純粋な物質も存在しない。

全体が部分から構成されているにちがひはあるまいが、部分において真であることが、必ずしも全体において真であるとは限らない。□ A「部分のすべてを知つたとしても、全体を知つたことにはならない場合が多い。

野球のチームを考えてみれば、話が早い。メンバー全員を守備がう

5

まくても、チームの守備能力がよいとは限らない。チームの戦力を知るためには、メンバー一人一人の守備能力、打撃能力を知る以外に、チーム全体のチームプレイ、監督の采配力などを知る必要がある。科学は自然(人間を含む)を対象とする。[B] それぞれに、自然のきわめて狭い一部分しか対象にしない。その中でより生態学は、あくまでも全体を対象にしようとする。海洋生態学は海洋しか対象としないが、それでも海洋全体を一つの生態系として見ていく。対象を狭く限定すればするほど「科学は「イ」になることができる。反対に全体を対象にしようと思えば、あまりにも複雑で、海洋としてつかみがたなくなってくる。対象を観察し、記述するに精進しないて、なかなか相関関係の発見、それから法則の抽出へと進まない。いわんや理論体系をつくることなど、困難をきわめる。

[C] は現実に生きている生態学には理論体系はない。生態学の現状は、生物の自然という巨大な「象」を対象に、懸命に観察を積み重ねているところなのだ。

たとえば、倉沢秀夫信州大学教授、北沢右三東京都立大学助教授、坂本実名古屋大学助教授の三人が下北半島の泥炭地を調査した場合はこうだ。

ヨシの草原を、一平方メートルごとに区画して、その中の植物を全部刈り取る。それを茎と葉にわけて目方をはかる。さらに乾燥させてから目方もはかってみる。次に、その土を掘り取って、土中にミミズやダンゴ虫などの生物がどのくらいいたかを、一匹一匹数えあげる。次いで、バクテリアがどのくらいいたかも顕微鏡をのぞきこんで数えあげるのである。[D] 土壌中の生物と、その上に生えている植物の相関関係を調べようというのだ。二〇カ所調べるのに一〇日間、それを二年間、気が遠くなるような話である。

あるいは野馬の食生活を知るために、野馬の糞のそばに陣取って、糞ナリがエサを運んでエサに与えるたびに、ヒトの首を軽くしめ

て、そのエサの種類と数を調べあげている生態学者もいる。糞ナリは一時間に平均〇回エサを運ぶから、約六分間隔。素早くエサを調べてエサに返してやらないで、糞ナリを見つかったら、この調査を九日待つ。これまた大変な仕事だ。

あちこち海水をくみ上げては、それを遠心分離器にかけ、顕微鏡でのぞいてプランクトンの数を数えている学者もいる。

こうした生態学者たちの仕事は、博物誌的な記述に近いのだが、[A] 自然の有機的な構造が浮き彫りにされてきつてくる。

個々の生態学者たちの仕事は、博物誌的な記述に近いのだが、[B] 彼らは少なくとも謙虚に情報を交換し合うことによって、象の輪郭をつかみはじめていく。

生態学者たちが、自然のあちこちで発見する相関関係は、まだ普遍的で客観的な法則化できたものではない。それはいろいろとみれば、治に居て乱を忘れず、といった、古語のこぼれに現れているような経験の集積が生んだチエに近いものかもしれない。

科学も、もともとただせしめられた法則化していることではあるが、経験の集積である。しかしそれは、精密化を心がけるあまり、一面的で局部的な経験だけをとりあげて、そこから知識を抽出してくる。これに対して生態学のチエは、経験全体からじみ出してくるようなチエなのである。

知識が優位に立つべきか、チエが優位に立つべきかは、論を待たずともあるまい。部分において正しいことが、全体の中で正しいとは限らないからである。

冷暖房にはエアコンが一番、しかし、それをすき間だけの日本家屋に付けるのは意味がない。体を丈夫にするためには、タンパク質をとめる必要がある。しかし、腎臓が悪い人には逆である。企業生産計画を、営業サイドの売り上げ見通しだけをもちに立ててしまえば、回転資金不足のために黒字倒産といつたことだってあつて

7

ような構造

5 多くの部分が緊密な連関をもちながら全体を形作っているよう多構造

問八 傍線部d「治に居て乱を忘れず」に類似する意味の語を、次から選び番号で記せ。

1 勝つて兜の緒を締めよ

2 安に居て危を思ふ

3 転ばぬ先の杖

4 人生万事塞翁が馬

5 急いで事は進める

問九 傍線部e「帰納」の説明として適当なものを、次の中から選び番号で記せ。

1 一般的な前提から、個別的、特殊な結論を導く方法

2 経験を積み重ねること、納得度を高めながら法則を導く方法

3 個々の特殊な事実から、一般的な原理、法則を導く方法

4 一般的な前提を、個々の事実に帰納させ結論を導く方法

5 多くの実験結果と普遍的論理を統合し、結論を導く方法

問十 傍線部f「知識が優位に立つべきか、チエが優位に立つべきかは、論を待たずともあるまい」とあるが、どちらが優位に立つべきであると筆者は述べているか、次の中から選び番号で記せ。

1 知識

2 チエ

3 どちらとも言えない

問十一 次の1〜5について、本文の内容に合致するものにはAを、合致しないものにはBを記せ。

1 物理学は物質の物理的な性質だけを問題にし、純粋な状態で考えようとするため、学校の物理学の問題にはやたらと但し書きが必要になる。

2 生態学には理論体系はなく、生物的自然を対象に、懸命に観察

を積み重ねている。そして、少なくとも謙虚に情報を交換し合うことによって、その輪郭をつかみはじめていく。

生態学における知識は普遍的で客観的な法則化ができるような段階に入りつつあり、それは、科学のチエを必ず超えるものな存在になるはずである。

3 科学は、経験の集積である。そして、それは精密化を心がけ、局部的な経験をもちあげるため、そこからチエを抽出できるという点で万能である。

4 即刻言えば、生態学は映像であり、その他の自然科学は映像であると解釈することができる。

6

これからわれわれが学ぼうとしているのは、生態学と与えるチエである。それは他の自然科学の与える知識ほど、もつとらさしはせていないかもしれない。

彫刻には、彫像と塑像とがある。彫像は、石材や木材を外から少しづつ削り取って、像を彫りあげていく。塑像は、芯になるものの上に粘土を少しずつ積み重ねて、像を作る。

生態学も他の自然科学も、自然の映像に迫ろうとしている点では同じだが、その態度にこの彫像と塑像のちがいが見られる。どちらも未完成のものであるから、自然の映像は両者のたどりつた地点の中間にあるにちがいない。だから、内側から外に伸びていく自然科学の知識、あるいはその利用法は、少なくとも、生態学と与えるチエを遊覧してまで外に伸びてはならないといえる。

(金花隆『新装版 思考の技術 エコロジイ的発想のすすめ』中央公論新社による)

考えているから。

3 局部を問題にすることで物事を単純化することができる。それにより全体も単純化して把握することができる。

4 現実の事象はいろいろな関係から成り立っており、そのすべての関係を取り入れて考えることは不可能に近いから。

5 局部を問題にし、法則化することができるれば、現実の事象を簡単に再現することができるようになるから。

問六 傍線部b「相関関係」の説明として適当なものを、次の中から選び番号で記せ。

1 二つのものが密にかかわり合い、一方が変化すれば他方も変化するような関係

2 二つ以上のもの間に、原因と結果のかかわり合いがあるような関係

3 二つものが独立しており、一方が他方に何の影響も及ぼさないような関係

4 二つものが相対するようになり、一方が増加すれば一方が減少するような関係

5 二つ以上のものが複雑に絡み合い、不規則な影響を及ぼし合う関係

問七 傍線部c「有機的な構造」の説明として適当なものを、次の中から選び番号で記せ。

1 多くの部分が独立しながらも全体としては調和を形作っているような構造

2 多くの部分が機械的な役割分担のもとで整然とした調和を形作っているような構造

3 多くの部分が点在しながらも有機的なつながりや確保しているような構造

4 多くの部分が機械的な有機性を保ちながら全体を形作っている

- 問一 傍線部1〜5の漢字の読みをひらがなで記せ。
- 問二 空欄A〜Eに入る適当な語を、次の中から選び番号で記せ。
- 1 こうして
- 2 それでも
- 3 また
- 4 したがって
- 5 しかし
- 問三 空欄アに入る適当な語を、次の中から選び番号で記せ。
- 1 統合
- 2 集積
- 3 還元
- 4 変換
- 5 実装
- 問四 空欄イに入る適当な語を、次の中から選び番号で記せ。
- 1 乱雑
- 2 乱雑
- 3 法則
- 4 映像
- 5 精密
- 問五 傍線部a、科学はいつも局部しか問題にしないとする理由として適当なものを、次の中から選び番号で記せ。
- 1 局部を突き詰めていくことで、全体を把握することが可能であると考えているから。
- 2 たくさんの局部を寄せ集めることが科学のあるべき姿である

- 問一 傍線部1〜5の漢字の読みをひらがなで記せ。
- 問二 空欄A〜Eに入る適当な語を、次の中から選び番号で記せ。
- 1 こうして
- 2 それでも
- 3 また
- 4 したがって
- 5 しかし
- 問三 空欄アに入る適当な語を、次の中から選び番号で記せ。
- 1 統合
- 2 集積
- 3 還元
- 4 変換
- 5 実装
- 問四 空欄イに入る適当な語を、次の中から選び番号で記せ。
- 1 乱雑
- 2 乱雑
- 3 法則
- 4 映像
- 5 精密
- 問五 傍線部a、科学はいつも局部しか問題にしないとする理由として適当なものを、次の中から選び番号で記せ。
- 1 局部を突き詰めていくことで、全体を把握することが可能であると考えているから。
- 2 たくさんの局部を寄せ集めることが科学のあるべき姿である

解答用紙

国語

一

問一	1	たんてき
	2	ばいかい
	3	こらす
	4	さい

問二	ア	5
	イ	3
	ウ	4
問三	A	2
	B	5
	C	1
	D	4

問四	2
問五	I 生きた姿
	II 芸術

問六	2															
問七	人	間	が	自	分	の	こ	と	で	は	な	く	、	神	の	
	こ	と	を	書	い	い	た	場	合	が	あ	っ	た	か	も	し
	れ	な	い	と	い	う	こ	と	。							

問七	文	字	だ	け	を	仲	介	と	し	て	時	と	所	を	隔	
	芸	術	た	人	間	同	士	の	交	渉	を	可	能	に	す	る

問八（AかBで解答）	1	B
	2	B
	3	B
	4	A
	5	B

二

問一	1	ちゆうしゆつ
	2	でいたんち
	3	めかた
	4	そぞう
	5	いっだつ

問二	A	3
	B	5
	C	4
	D	1
	E	2

問六	b	1
問七	c	5
問八	d	2
問九	e	3
問十	f	2

問十一（AかBで解答）	1	A
	2	A
	3	B
	4	B
	5	A